

プレゼン：3月10日 A会場 16:30～ 設計と製造のダイナミックな協調

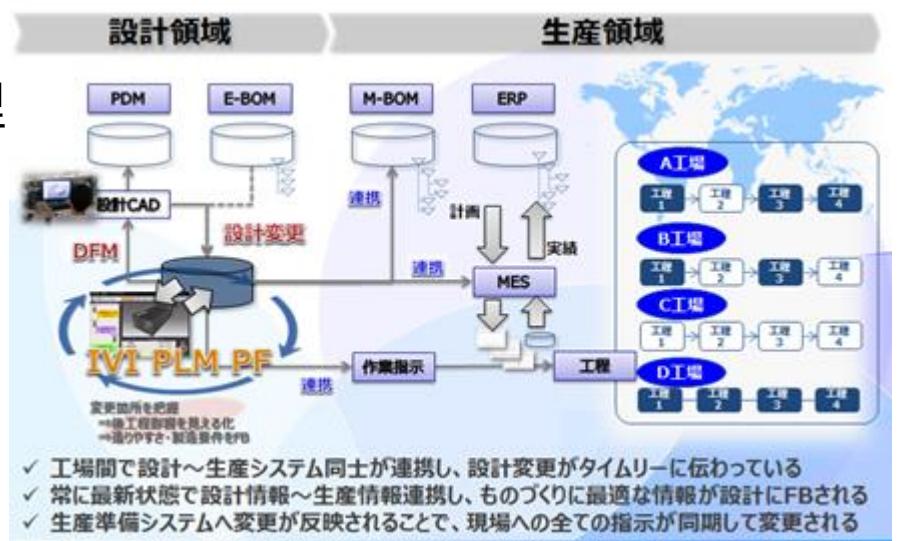
## 対象業務の現状と取組み

### 設計業務と生産準備業務の連携をデジタル大部屋(IVI\_PLM\_PF)で実現

従来のものでづくりでは、設計業務と生産準備業務の連携をタイムリーに行うために必要な情報収集作業や、設計変更対応は各作業者のスキルに依存しているためモレやミスが発生してしまいます。これは、①情報の伝達と管理と②変更対応業務の2つの課題が存在することによります。デジタル大部屋(IVI\_PLMプラットフォーム)を利用することで、工場間で設計～生産システム同士が連携し、設計変更をタイムリーに伝えることが出来ます。常に最新状態で設計情報～生産情報連携し、ものづくりに最適な情報が設計へフィードバック出来ます。生産準備システムへその変更が反映されることで、現場への全ての指示が同期して変更されることを目指します。

## 実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

デジタル大部屋(IVI\_PLMプラットフォーム)構築によって、設計変更情報の一元管理による情報収集時間短縮と、変更・変化点確認をプラットフォーム化で同一品質でのアウトプット抽出が可能となり課題解決することができます。これから取り組む実証実験では、対象業務における工数40%削減を目標として準備を進めています。



ファシリテータ：野崎直行(富士通)

メンバ：萬田 俊(富士電機)

小芝幸広、相川守(SONY GM&O)

木村勝己、竹内正泰(SONY GM&O)

岩永 祥治(IHI)、伊藤栄梨(シーイーシー)

伊与田克宏(東洋ビジネスエンジニアリング)

